

ぎふ障スポーツだより

平成27年11月

第30号

2015.
11.

編集・発行 (一社) 岐阜県障害者スポーツ協会 〒500-8385 岐阜県岐阜市下奈良 2-2-1 岐阜県福祉農業会館 5階
TEL. 058-273-1111 (㈹) FAX. 058-273-9308 mail gisyousupo@human-i-land.com



第15回全国障害者スポーツ大会 「紀の国わかやま大会」

朝晩は寒さを感じる季節になりました。皆さんいかがお過ごしでしょうか。

先の「紀の国わかやま大会」へは、ぎふ清流大会の開催以降、個人競技の参加枠が通常ベースの人数まで減少したにもかかわらず、団体競技がブロック予選で勝ち抜いた結果、百四十名を超える選手団を派遣いたしました。

ぎふ清流大会以降、引き続き選手強化に対して県のご支援をいただき、その意に応えようと、選手はもとより指導者の皆様が献身的な指導をしていただきお陰で、全国的に見ても誇れる戦績を残すことができましたことに、心から感謝するところです。

また、本会が「一般社団法人」として新たなスタートを

切り、早一年が経過をいたしました。

これもひとえに皆様のお力添えの賜物と心より感謝しております。

今後は、平成十四年の設立当初の目的であつた「スポーツを通じた障がい者の社会参加」に加えて、スポーツ庁ができる益々加速する二〇二〇年東京オリンピック・パラリンピックに向けて「競技力の向上」にも力を入れ、スポーツ振興と選手の育成・強化を両輪に、本県の障がい者スポーツを統括する団体として、その役割を担つていきた



一般社団法人
岐阜県障害者スポーツ協会
会長 松井逸朗

新たなスタートから早一年

いと思っています。
今後とも、今に増します皆様のご支援、お力添えをお願いし、挨拶といたします。



市内の紀三井寺公園陸上競技場をメイン会場に、十月二十四日（土）～二十六日（月）までの三日間、和歌山县内七市町で開催されました。

岐阜県からは、選手八十九名を含む、総勢百四十三名の選手団を派遣しました。

大会期間中は、朝晩と日中の寒暖差が激しく、会場とホテルの移動時間も長く、選手にとっては必ずしも快適と言える環境ではありませんでした。

そんな中、各選手は日頃の練習の成果を十二分に発揮され、個人競技では金十四個、銀二十一個、銅九個、合計四十四個のメダルを獲得し、団体競技においては三競技に四チームが出場し、うちバレー、ボール聴覚女子が優勝、サッカーが三位に入賞しました。

選手決定から強化練習、大会参加までの間、多くの方に支えていただき、出場した選手はこの経験を今後に生かしてくれることを期待しています。

第十五回全国障害者スポーツ大会「紀の国わかやま大会」は、和歌山市

【個人競技】 陸上選手

猿渡 幹男（美濃市）

競技は、二十五m、五十mそれ

二十五m、五十mそれ

二十五mでは、目標タイムより一秒遅くて

大会もサ

ポートを

してくれ

たスタッ

フの方や

ボラン

ティアの

皆さん

本当にあ

りがとうございました。

初よりも打ち解けることができたと思います。

今回の大会もサ

ポートを

してくれ

たスタッ

フの方や

ボラン

ティアの

皆さん

本当にあ

りがとうございました。

会となりました。

五年前に膀胱がんになり、障害者手帳を取得しました。

そして二年前から陸上競技を始め、国体を目指してやってきて、今回、念願の出場を果たしました。

和歌山大会では、家族や大勢の方から応援を受けて競技を行い、とても良い経験ができました。

またこのようないい機会がないただけるなら何歳になつてもチャレンジをして行きたく思います。

まだ、感動と勇気を与えてくれた仲間達とお世話を

しかし五十mでは、今までの練習よりも四秒ほど速く泳ぐことができとても嬉しかったです。

私の中では、今までの練習の成果が発揮できたと思うので良かったです。

大会に向けて私は自分の苦手な打ち方をたくさん練習しました。

大会本番、最後は負けてしましました。団体行動は最初不安でしたが、

時間が見て動いたり、分からぬことがあつたら質問をしたりして、みんなに合わせて行動をすることができました。

結果は二位とあまり練習の成果を発揮することはできませんでしたが、今後に生かせる経験ができた大



「紀の国わかやま大会」を終えて

藤村詩絵里（郡上特支）私は今回初めて全国障害者スポーツ大会に出場しました。

最初は他の選手の人と仲良くできるかとても不安でしたが、大会を通して仲間と関わっていくうちに、最

水泳選手

藤村詩絵里（郡上特支）

私は紀の国わかやま大会のアーチェリー競技に出場しました。

和歌山の射場は風が強いと聞いていましたが、実際競技を行う時もものすごい風で試合開始が遅れ、規定の半分しか行うことができませんでした。

結果は二位とあまり練習の成果を発揮することはできませんでしたが、今後に生かせる経験ができた大

会となりました。

大会もサポートをしてくれたスタッフの方やボランティアの方や皆さん本当にありがとうございました。

全国障害者スポーツ大会に参加させていただいて、卓球の技術だけで



翠尾 明奈（岐阜県）

大会に向けて私は自分の苦手な打ち方をたくさん練習しました。

大会本番、最後は負けてしましました。団体行動は最初不安でしたが、

時間が見て動いたり、分からぬことがあつたら質問をしたりして、みんなに合わせて行動をすることができました。



はなく、大切な力が身に付いたと思
います。

最後に、協会の皆さん、監督、そ
して岐阜県選手団の皆さんや私を応
援してくださいました学校の先生方や家
族、皆さんありがとうございました。

フライングディスク選手

内田 巨柄（大垣特支）

僕は岐阜県の代表に選ばれたこと
を聞いてとても嬉しかったです。

強化練習にも何度も参加をしてフ
ライングディスクの練習をしました。

僕は開会式が近づいてきた時はす
ぐ緊張しました。開会式では、選
手の人数が多いことと、お客様の
人数が大変多いことに驚きました。
そして皇太子様のお姿を見るこ
とができたり、素晴らしい演技を見て
感動しました。

フライングディスクの競技では、
一日目にアキュラシーを行い、組の
一番始めに投げたので緊張してしま
いました。

二日目のディスタンスでは、一m
の差で四位になってしまい、とても



悔しかったです。

最後の閉会式が終わつた時はほつ
としました。そして寂しい気持ちに
なりました。

僕にとってこの「紀の国わかやま
大会」のすべてが一生の思い出にな
りました。

ボウリング監督

山田 辰巳（岐阜県ボウリング連盟）

今大会では、二名の選手が共に前
半終了時は四位で、三位との差はわ
ずかで後半に望みを繋いだが、最終
ゲームに大きく崩れて共に第五位で
大会が終了しました。

選手との反省会で次に向けての課
題も見つかり、選手にとつては良い
経験だつたと思います。

大会のたびに思います、現地で
のボランティアの方々には本当に感
謝しています。

【団体競技】 バレー・ボール・聴覚女子選手

河尻 奈美（関市）

初出場した山口大会から四年、あ
の時手にした金メダルから、この四
年間優勝チームとしての重圧を背

負つて戦つてきました。

そして全国でも高さで勝る兵庫県

チームにずっと惜しいところで負け、
そのたびに流した悔し涙。「今度こそリベンジを」と誓つた和歌山
大会の決勝戦は、やはり兵庫県とな
りました。

ものすごい緊張と負けられない思
いをもつて、必死で戦いました。

一セット目を取られ本当に苦しい
中、監督の指示をひたすら守り、二
セット目を取り返しました。

そして勢いそのままに三セット目
も取り優勝しました。

選手だけでなく、監督やコーチ、
マネージャー、そして何より見てい

て心が震えるたくさんの応援の方々。皆さん
のおかげで四年ぶりに優勝
することができました。



をあげ、会場が沸いたことは一生忘
れません。皆さん本当にありがとうございました。

サッカー選手

前田 翔吾（中津川市）

今年で四回目の国体でしたが、今
回が初めてキャプテンとして臨む國
体だったので責任感やプレッシャー
もありましたが、三位という結果で
終えることができました。

優勝を目指してやつてきましたが、
二回戦で東京に負けたのは悔しかつ
たですが、今までと違い、手応えを
感じる試合ができ、三位決定戦では
負けを引きずることなく勝利で終え
るができた、この国体を通してチーム
が成長することができたと思いま
す。

今回得た経験を活かす
ために、今後もいつそう練習に励み、
来年も国
体に出られ
るよう、そし
て優勝で
きるよう
頑張つて
いきたい
と思います。

優勝が決
まった瞬間、
コートと観客
席みんなが一
緒になつて声



第15回全国障害者スポーツ大会「紀の国わかやま大会」戦績

競技名	氏名	種目①	記録	順位	種目②	記録	順位
陸上	後藤ふうか	100m	21秒39	2	200m	21秒39	2
	玉木 智也	100m	20秒01	2	200m	41秒33	2
	矢嶋 章浩	ジャベリックスロー	12m68cm	1☆	ソフトボール投	21m73cm	1
	石田喜一郎	100m	11秒94	2	200m	24秒85	5
	松本 知樹	100m	11秒94	3	200m	24秒85	4
	日江井みね子	砲丸投	7m94cm	1	ソフトボール投	24m69cm	2
	猿渡 幹男	50m	8秒22	2	ソフトボール投	51m07cm	1☆
	北原 伸之	砲丸投	11m00cm	4	ジャベリックスロー	28m67cm	2
	水野 佳奈	50m	7秒79	1	200m	31秒16	3
	水野 若菜	100m	14秒84	3	立幅跳	1m84cm	5
	堀 大輝	走高跳	1m76cm	2☆	ジャベリックスロー	46m31cm	1
	水木 紫温	100m	12秒07	2	200m	24秒83	6
	植田 隆太	100m	12秒51	6	200m	25秒85	5
	清水 優平	ソフトボール投	75m61cm	2	ジャベリックスロー	47m41cm	1
	山口 翔大	100m	12秒41	4	200m	25秒94	3
	佐藤 祐樹	800m	2分18秒78	6	1500m	4分44秒78	3
	水野、水木、植田、山口	4×100m リレー	50秒79	3			
水泳	松井ゆずか	50m 自由形	34秒42	3	50m 平泳ぎ	47秒71	1
	宮嶋 雪帆	50m 背泳ぎ	39秒10	2	50m 自由形	34秒42	3
	羽賀 昭徳	25m パタフライ	14秒25	1☆	50m 自由形	31秒90	1☆
	藤村詩絵里	50m 自由形	47秒16	6	25m 自由形	21秒32	7
	伊藤 拓	50m 自由形	27秒55	2	25m 背泳ぎ	15秒99	2
	久田 誠	25m 背泳ぎ	17秒29	1	50m 背泳ぎ	35秒43	2☆
アーチェリー	服部 俊久	リカーブ 50m・30m ラウンド	188点	2			
卓球	翠尾 朋奈	一般卓球	2点	3			
	石田 信利	一般卓球	4点	1			
	内木 春明	サウンドテーブルテニス	3点	2			
	鷺見めぐみ	一般卓球	3点	1			
	石本 誠人	一般卓球	3点	2			
フライングディスク	西戸 鉢代	アキュラシー・7m	6投	5	ディスタンス座位	26m49cm	2
	村井 幹夫	アキュラシー・5m	7投	6	ディスタンス立位	45m04cm	2
	柘植 英泰	アキュラシー・5m	7投	5	ディスタンス立位	40m79cm	2
	武田 知夏	アキュラシー・5m	5投	6	ディスタンス立位	26m45cm	7
	内田 亘柄	アキュラシー・5m	6投	7	ディスタンス立位	35m93cm	4
	中島 寿明	アキュラシー・7m	4投	5	ディスタンス立位	51m68cm	1
ボウリング	尾藤 和俊	ボウリング	531	5			
	黒田 志信	ボウリング	433	5			

・金14個、銀21個、銅9個 ☆=大会新記録

	氏名				結果	
	中島 哲生	藤代 清明	安田 亮	伊里 裕二	岐阜県 0 - 5 宮城県 (1回戦敗退)	
ソフトボール	藤本 幸吉	下川 豪敏	森川 和賢	葉山 俊明		
	奥山 豊和	今瀬 賢三	馬渕 聰太	吉川 幸司		
	後藤 才人					
バレーボール 聴覚女子	武藤有里菜	横山 美香	河尻 奈美	服部 真弓	和歌山県 0 - 2 岐阜県 岐阜県 2 - 0 広島市 兵庫県 1 - 2 岐阜県	
	藤井 美緒	杉山 舞	今井 優	江崎 美空		
	小川 舞夏	北川 七星	市原 美咲	田下 りか		
バレーボール 知的男子	鷺見 雅	田川 友貴	柏谷 優二	尾形 國光	東京都 2 - 0 岐阜県 (1回戦敗退)	
	樋口 慧	森 康太	岩田 駿人	奥村 隼多		
	平澤 勇貴	高橋 一司	岩崎 浩樹	苅谷 輝		
サッカー	木野 友嘉	勝 光一郎	山川 竜一	安藤 竜輔	岐阜県 2 - 0 島根県 東京都 2 - 0 岐阜県 沖縄県 0 - 3 岐阜県	
	吉崎 秀平	岩井 大	安藤 哲弥	下村 繁成		
	柘植 勝	熊崎 将大	坂 祐太	井元 郁也		
	原 和輝	前田 翔吾	村井 倖大	酒井 虎男		

第十五回全国障害者スポーツ大会 「紀の国わかやま大会」岐阜県選手団報告会

和歌山県で開催された「第十五回全国障害者スポーツ大会（紀の国わかやま大会）」に参加した本県選手団のうち、上位に入賞した選手らが出席し、十一月二十四日（火）、岐阜県庁において知事への報告会が開催されました。

会の冒頭、選手団副団長を務められた県健康福祉部障害福祉課尾崎浩之課長から「メダル総数は四十六個で、個人競技では五名の選手が大会新記録を樹立し、団体競技でもバレーボール聴覚女子が優勝、サッカーが三位に輝いた」等、戦績が報告されました。

次いで、選手団長を務めた本会松井会長が大会を振り返り、「今大会は、会場と宿泊場所が離れている競技が多く、選手は中々難しい環境の中で、これだけの成績を収めることができて本当によかったです。何より皆が笑顔で元気に帰岐でき、各選手にとって実りある大会であったと確信している」と総括。

これを受け、古田肇岐阜県知事は「ぎふ清流国体・大会から三年が経過したが、あの時と変わらず和歌山



知事報告会

平成二十七年度（一社）岐阜県障害者スポーツ大会優秀選手・チーム賞」表彰式

岐阜県選手団の報告会に引き続き、岐阜県水産会館において、平成二十七年度（一社）岐阜県障害者スポーツ協会「全国障害者スポーツ大会優秀選手・チーム賞」の表彰式を行いました。

受賞した個人競技選手三十一名、団体競技二チーム（二十八名）のうち、選手・関係役員を含む五十二名が出席し、会場は「清流の国ぎふ」をイメージしたブルーのユニフォーム一色に包まれました。

この表彰は、県内の障がい者ス



表彰式

式典には、県健康福祉部石原部長をはじめ関係課長の他、岐阜県レクリエーション協会渡邊会長にもご臨席いただき、「スポーツの持つ力を改めて感じた。今後も行政や関係団体と連携し、皆様をバックアップしていきたい。皆様も様々な立場で障がい者スポーツを支えていただきたい」と、ごあいさついただきました。

最後に、被表彰者を代表して聴覚バレーボール競技の武藤有里菜選手が、「このような賞をいただき感謝している。これを励みに今後一層精進していきたい」と、決意の言葉を述べられました。

ドリームスポーツ大会は、平成二十七年十月十八日（日）岐阜メモリアルセンターにて開催し、昨年に引き続き晴天に恵まれ、透き通った秋空の下で県内各地から選手、ボランティアや関係者合わせて約千六百名が集結しました。

今年の式典前演技は大垣特別支援学校の鼓笛演奏が行われ、会場を盛り上げていただきました。

陸上競技

眩しいほど日の差しが降り注ぐ長良川競技場で陸上競技が行われました。選手は額に汗を光らせながら、二十五m走、五十m走、百m走、八百m走、四×百mリレーを競いました。

選手の方々のゴールした時の活き活きした笑顔は、他の選手やボランティア、支援者の方々に大きな元気を与えていました。

また、昨年のタイムを持参し、今年のタイムと見比べて「去年



ドリームスポーツ大会は、平成二十七年十月十八日（日）岐阜メモリアルセンターにて開催し、昨年に引き続き晴天に恵まれ、透き通った秋空の下で県内各地から選手、ボランティアや関係者合わせて約千六百名が集結しました。

今年の式典前演技は大垣特別支援学校の鼓笛演奏が行われ、会場を盛り上げていただきました。

団体競技

で愛ドームでは総勢五百五十二名が、大玉転がし、綱引き、玉入れを競いました。

大玉転がしは、思うように送れないボールに右往左往しながらも、みんなが声を掛け合い、励まし合い、協力してボールをゴールに導きました。



より速くなつた」と笑顔で話している方もいれば、「太ったから遅くなつた」と周囲の方々に苦笑いしながら話している方もみました。

さらにフィールドでは、フライングディスクが行われ、コントロールや距離を競いました。参加された方は普段の練習の成果を大いに発揮されていました。

ふれあいラリー

ふれあいラリーでは、輪投げ、ボウリング、ミニサッカー、ストラッカアウト等、室内で楽しめる軽スポーツを行いました。



勝った喜びを同じチームの仲間と分かち合う人もいます。トーナメントで行われる綱引きは決勝戦に近づくほど白熱して、会場は熱気に溢りました。

玉入れは安全な競技でもあり、年配の方にも参加しやすいうことから、玉入れにだけ参加される施設の方もみえました。

バザー

今年は岐阜県の障がい者施設八施設が出店されました。

昨年に引き続き参加者の方にバザー購入券が配布され、買い物を存分に楽しめたようです。

今年は定番の物から、変わり種の

物まで、色々な物が販売されていました。

また、今年はくじ引き等、ドキドキ感や好奇心もくすぐられる商品もあり、バザー会場を盛り上げていました。大いに盛り上がりました。



ポートしていただき、今年も参加された方々には充実した時間を過ごしていただきました。

また、障がいが重くても楽しめるポーチ等の素敵な記念品が貰えます。

また、障がいが重くても楽しめる交流を楽しみ、さらには販売などの仕事が生まれる等、多くの方にとつて有意義な一日になつたと思いま

第十二回岐阜県障害者スポーツ大会秋大会『ドリームスポーツ大会』

欠席者が少し出た。当日は、開催しました。



今年度も障がい者スポーツ教室を開催しています。昨年度も障がい者スポーツ教室を開催してきましたが、今年度から、より多くの地域の方々に身近でスポーツを楽しんでもらうことで、今後の岐阜県の障がい者スポーツを振興していくこと、陸上、水泳、アーチェリー、卓球、ボウリング、車椅子バスケットボールの六競技を、岐阜、西濃、中濃、東濃飛騨の五圏域で開催しています。今回はその中からいくつかの教室を紹介します。

今回の教室は人數も少なく、できることが限られていたが、その分講師の方に、間近でなおかつ丁寧な指導を受けることができ、参加された方にとって充実感のある教室になつたと思います。

清見 B & G 海洋セントナリ一体育館で開催しました。



アーチェリー教室（西濃圏域）

十月十二日（月）大垣市にある福

田アーチェリーセンター場で開催しました。

水泳教室（岐阜・西濃圏域）

十一月八日（日）午前中は大垣市

のコパン大垣店、午後からは岐阜市の岐阜メモリアルセンターの長良川スイミングプールにて開催しました。

講師は、普段から障がいのある方を対象とした水泳教室を行つていい、すくなく岐阜の方をお招きしました。今年度の後半にもボウリング教室や卓球教室など様々な教室を予定しております。また、教室の開催計画につきましては、隨時、HPなどにも掲載していきますので、多くの方のご参加を心よりお待ちしています。

初となる西濃地区の大垣市で開催しました。

今年度は、開催しませんでした。

午前の大垣での教室は、小学生などを中心に泳ぎ方の基本を学び、子供たちは、慣れない浮き具に戸惑いました。

ながらも、一生懸命泳ぎ方を覚えていました。

岐阜県障がい者スポーツ教室



第二十回長良川ふれあいマラソン大会



十月四日（日）第二十回長良川ふれあいマラソン大会を海津市木曽三川公園特設会場にて開催しました。この大会は「ハンディのある人もない人も共にマラソンに参加しみずいを深めることによって、福祉に対する理解の輪を広げ、ハンディを持つ人の社会参加の意欲高揚と、県民の障がい者福祉に対する関心を深める」ことを目的として毎年開催しています。

今回は第二十回記念大会として、特別ゲストに高橋尚子さんをお迎えし、東は千葉県から西は兵庫県まで様々な地域から、男性六百三十一人、女性二百七十三名、伴走三十七名の



トリー数となりました。

当日は天候にも恵まれ、雲ひとつない秋晴れの中、開会式でのヘリコプターからの花束投下に始まり、各選手は懸命にゴールを目指しました。

種目は、2km、クオーターマイル、車いすハーフがあり、障がい者、健常者が共に競技される中で、沿道からの温かい声援が印象的でした。

スタート地点では、高橋尚子さんがエールで送り出し、ゴールでは最後のランナーまで一人一人にねぎらいの言葉と共にハイタッチで迎えてくださいました。

参加者全員、力一杯走っていました。

本会の趣旨に賛同し、障がい者スポーツに取り組もうとする方、活動を支援していただける方等、皆様のご理解とご支援をお願いいたします。

区分		年会費	
正会員	個人会員	1口	1,000円
	団体会員	1口	5,000円
賛助会員	個人会員	1口	1,000円
	団体会員	1口	10,000円

会員の募集について

たが、車椅子を懸命に足で蹴つて進むランナー、ハーフでは隻腕の女性ランナーが完走される姿に声援と共に称賛の声も多くありました。表彰式では上位入賞した選手だけではなく、感動を与えた選手に特別賞が贈られました。

レース以外では、高橋尚子さんとのジャンケン大会、ふれあい広場での模擬店、競技終了後のお楽しみ抽選会等のアトラクションもあり、参加された皆さんが楽しまれていました。大会については、関係者、ボランティアの協力もあり、スムーズに進行されていました。

本協会では様々な事業を行っておりますが、「こんなスポーツをやってみたい」や、この「スポ協だよりにあんなものを記事に取り上げて欲しい」など様々なご意見・ご要望、また、スポ協だよりのご感想などをお待ちしております。



編集後記

二〇一〇年オリンピック・パラリンピック東京開催がマスメディアに毎日のように取り上げられており、私たち障がい者スポーツを広めたい側からすればこの機会を活かさない手はないと思います。

そして今後、パラリンピックのことも含めて様々な障がい者スポーツの情報をこの紙面を通して伝えていければと思います。

(中村剛)

ご意見・ご感想等